

令和4年度 地域ケア個別会議 実施概要

資料4

【令和5年3月末現在 実施分】

No	包括	性別	年齢	要介護認定	世帯	課題
☆ 1	あさくさ	女性	90代前半	要介護1	独居	親族や支援者がいない。包括職員への被害妄想が見られるため、支援できるのがケースワーカーのみとなっている。
2	やなか	女性	90代前半	要介護2	同居 〔長男 次男〕	イライラすると杖を振り回してしまうため、悪気なく第三者を傷つけてしまったり、トラブルに巻き込まれてしまう可能性がある。
3		男性	80代後半	自立	同居 〔内縁の妻〕	R4年4月から5月の間に様々な場所で道に迷い、家に帰れない・歩けない等の理由で11回警察に保護された。その後もR4年9月から10月の間だけで33回保護されている。
4	みのわ	男性	80代前半	要支援1	独居	認知症により判断能力が低下しており、金銭や書類の管理ができない。光熱費等の滞納もある。
5	くらまえ	女性	90代前半	要支援1	独居	事実上支援できる親族がおらず、緊急時の対応を依頼できる人がいない。頼れる人がいないこと、老朽化した自宅での生活、金銭面、死後の片付け等の不安を抱えている。
☆ 6		女性	70代前半	未申請	独居	精神疾患があるものの、医療に繋がっておらず、近隣住民とのトラブルや管理費の滞納が判明した。
7	まつがや	女性	80代前半	要介護2	同居 〔長女〕	認知症の進行に伴う徘徊が見られており、近隣住民が変化に戸惑っているながらも見守りを行っている。また、介護者（50代）が仕事と介護の両立に迫られている。
☆ 8		女性	90代前半	要支援1	独居	被害妄想があり、警察等に訴えることがある。サービス利用の必要性を感じておらず、遠方に住む親族が1回の病院受診に同行している。
9	たいとう	男性	80代後半	要支援1	同居 妻 〔長男〕	デイサービス利用時の職員や他利用者への言動が問題となり契約終了となる。老人福祉館を利用するも、他利用者へ非難する場面が何度も見られ、苦情が出ている。
10	ほうらい	男性	70代後半	未申請	独居	生活環境が悪く、近隣住民からも苦情が出ている。受診拒否があり、医療に繋がっていない。経済状況も全くつかめない。
☆ 11		女性	80代前半	要介護2	独居	韓国で暮らしていたが数年前に帰国。認知症があり、複雑な手続きや金銭管理ができない。頼れる身内がないため、ケアマネジャーが対応を迫られる。
☆ 12		女性	90代前半	要介護2	同居 〔長女〕	認知症で定期受診をしている。同居の長女（60代）が介護サービスの利用に消極的。信頼関係を築きケアマネジャーとの相談を試みるも拒否。

☆ 前回（令和4年度第2回）以降に報告するケース
それ以外のケースは3か月後のモニタリング結果やその後の状況を追記